

能川

能川村役場新
救済委員会編



婚姻について

婚姻は新旧年未から翌年三月までの間が統計的に一番多いようであり男は十八才、女は十六才で法的に婚姻が成立し成年に達すれば証人二人を要してこれにも干渉受ける事なく夫婦となり同時に氏及び本籍等に於ても自由に定められるのであります。このような新法を生かす可くいたしたいものです。婚姻届の提出にあたっては今猶両親の内か兄弟の内か甚だしきは他人にまかすと言った例が少くありません。この様な場合、後婚の係としまして大変困る事が生じて参ります。届書は夫婦が署名捺印して双方が届出る事が本意でありますから出来るだけこのような方法を実行して載き度い事を望みます。他人にまかして後日戸籍が違っていたと言う例も無いではありません。この後になると戸籍訂正と言った方法で双方共に迷惑となります。婚姻とは将来に人生のスタートであると言っても過言ではありません。この届出にあたっては以上申述べました様な合法を行き方によりみんなに迷惑のかからないよう取扱いのものです。これから婚姻届を提出される方は以上の通り切に望んでおります。

小学校入学児童について

昭和三十三年度入学を予定される児童の名簿が十二月一日現在で出来ていますが要動や入学を延期することについて御注意下さい。○この名簿は住民登録を中心にして、調べていますから該当者の児童が居て住民登録をしてない方は教育委員会へ届けて下さい。○該当児童中養育が危い場合(身体、知能)病弱、その他止むを得ない事情で一年以上猶予を必要とする場合は医師の診断書に印鑑持参願ひで下さい。○今回の該当児童は昭和二十五年四月二日から二十六年四月一日までに出生のもの。

ジフテリアの予防

ジフテリアは年中、病気ですが、特に多いのは秋から冬の間です。以前はこの病気に、る人数も多く子供はその半数が死んでいました。その後、薬が出来又予防が強く行われたので今とその数も減り死亡する人もごく希になつておりましたが、近頃予防注射をうけない人がふえた為か又ジフテリア

ヤにかかると人が増加してゐるようです。

ジフテリアは口から伝染するものですから病人に近よらないことは勿論ですが、百人の中一人の割合で他人には病気をうつすが自分は一病病にならない人がある事が発見されました。この人達によって元氣な人の集る場所でも沢山の病菌がバラまがっているのですから、病気にかかりやすい幼児や乳児を人ごみの中に連れこむのは危険なわけですね。

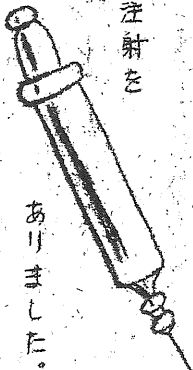
ジフテリアにかかりやすいのは二才から五才位までといわれていますが、今年は大人に多いのが特徴です。病気にかかると、喉のどがはれ熱がつく、のび込むと痛み白い膜がうきうきくるしくなる。いせきは犬の遠吠えに似ている等の病状です。時には喉のわるい風邪と混同し、こみおくれになつて自分か苦しむ上に、多くの伝染者を出すことになりま。ジフテリアにかかると早期診断、早期治療といふことが大切です。

今年九月十月に予防注射を

しました。三回全部

終らない人かなり

ジフテリアの流行期に



入りました。ジ

フテリアの流行期に、いので特にお願いして和氣先生で追加の注射をしますから左記該当者又は希望者は役場衛生係へ申出た上注射をうけて下さい。

●初回免液(三回うければならぬ人)

昭和三十三年三月一日から二月一日までに生れた人

●追加免液(一回注射をうければならぬ人)

来年度三月小学校入学する者

●希望者 生徒六ヶ月以上の者

火災予防週間の行事

12月/日本村消防団は各分団に出場、団員の訓練、機材器具の点検整備、各戸かまど、煙突の検査を実施する他村内に火災予防宣伝隊を出動して防火思想の普及に努めた。各分団出動状況は、1分団57名、2分団27名、3分団55名、4分団72名、5分団38名。計 249名。

動力ポンプ購入

消防団救済会の熱意によって又分団岩谷地区は9月に、又分団宇和川地区は12月/日にそれぞれ馬力の動力ポンプを購入。これで全分団地区に動力ポンプの設置を了した。

昭和37年工業統計調査の実施について

通産省では本年12月3/日現在で工業統計調査を実施することになりました。この調査は全国の製造工業について、従業員の数、原材料の使用額、出荷額等について調査しわが国の経済活動の実態を明らかにする最も重要な統計を作るために行われるもので、いわば製造工業の国勢調査です。何れ/月には調査員が調査に行きますが前年調査した工場(個人を含む)は勿論新しく製造業を行っている工場も本年/カ年の実績を調査しておいて下さい。

予子林の合併に伴う村有林の分割問題解決

10月3/日約7町歩の分割をうけ本月境畔石を埋設円満解決した。

